



東京女子医科大学学術リポジトリ
<https://twinkle.repo.nii.ac.jp>



テュートリアル課題 出張帰りの東京太郎さん

著者名	東京女子医科大学
雑誌名	テュートリアル課題
巻	2007
号	B3
発行年	2007-05-31
URL	http://hdl.handle.net/10470/29017

2007年度

Block 3 テュートリアル課題

課題番号 6

出張帰りの東京太郎さん



❖断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意下さい

消化器内科学 春田 郁子

課題名;出張帰りの東京太郎さん

シート1

新入社員の東京太郎さんは、課長の小泉一郎さんとともに6ヵ月に及んだ東南アジア出張を終えこの度帰国した。

東京 「出張中は忙しかったですが、色々と勉強になりました。また、現地で珍しいものをごちそうになったりして、充実していました。」

小泉 「東京太郎君、出張してすぐ、現地法人の社長が突然亡くなって大変だったが、良く頑張ってくれたね。」

東京 「あの時はショックでした。還暦を迎えたばかりの社長が黄色い顔をして、とても辛そうで、、、。」

抽出を期待する事項

1. 「黄色い顔」とはどういうことか？

→黄疸のメカニズム・ビリルビンの代謝を学習する。

→黄疸の病態を学ぶ。

2. 「還暦過ぎの社長」

→年令から考えて、起こる可能性のある黄疸を来す疾患の鑑別を挙げる。

シート2

帰国翌日の出勤前、朝から太郎さんは微熱と吐き気を感じ、体がだるくてつらかった。また、尿の色もいつもより濃い感じがしていた。太郎さんどうしても、会社に出勤する元気がわいてこないで、会社に欠勤の電話をかけ、自宅で安静にしていた。

抽出を期待する事項

1. それまで元気であった人が急に、「微熱と吐き気、体のだるさ、尿の濃染」等が出現した場合、何か考えられる原因があるか？

シート3

太郎さんは、2日間欠勤したが、症状は一向に改善しなかった。全身のだるさや尿の色が濃い症状は、ひどくなる一方だった。3日目になり太郎さんはついに病院を受診することにした。病院に着く頃には、何となく目が黄色いような感じも加わり不安で一杯だった。

「今まで、病気といえば、大学生の頃一度だけ、腹痛で病院を受診し、胆石症と診断されたことがある。でも、すぐに痛みは軽快し、『経過観察だけでよい。』と言われていたのに。今回は、あの時のような腹痛はないし、いったいどうしてしまったのだろう、、、」

診察室で、先生は、現在の症状等を色々質問し、その後、診察を行った。診察の後、血液検査と尿検査、超音波検査をうけるように指示された。

抽出を期待する事項

1. 病気で不安な時の患者の気持ちにどう向き合うかを考える。
2. 「現在の症状等を色々問診し、」
→このケースの場合どのようなことを問診するのがよいかを考える。
3. 「採血と尿検査」
→全身倦怠感・黄疸を呈する患者の検査の進め方を学ぶ。
4. 急性肝炎の原因・症状を学ぶ。